



# 学校だより

令和8年度 5月号

学校 HP <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/katsuradai/index.cfm>

横浜市立 桂台 小学校  
学校長 今井 健二

横浜市栄区桂台南1-1-1



TEL 891-8000

## あいさつの達人

校長 今井 健二

登校時間になると、正門の前には子どもたちの元気な声があふれます。こちらが声をかける前に目を合わせて自分からあいさつをしてくれる姿に、毎朝うれしい気持ちになります。あいさつは、人と人とを自然につなぎ、安心感を生み出す大切な働きをもっています。気持ちのよいあいさつに包まれて一日を始められることは、とても幸せなことだと感じています。

さて、あいさつを大切に作る合言葉として「あいさつ四か条」があります。「あ・い・さ・つ」の文字に込められた四つの心掛けを意識して「あいさつの達人」になろうというものです。本校昇降口にも掲示されています。

「あ」は、「あかるく、あたたかく」です。明るく温かいあいさつは、周りの人の心を和ませ、優しい気持ちにさせてくれます。

「い」は、「いつでも、だれにでも」です。あいさつは、仲のよい友達や顔見知りの人だけのものではありません。普段あまり話をしない人に声をかけるのは勇気がいりますが、その一声が新しいつながりを生むこともあります。あいさつが、人との距離を少し縮めてくれます。

「さ」は、「さきに、すすんで」です。あいさつは、自分から先に行くことが大切です。先に気持ちよくあいさつをされると嬉しくなり、自然とあいさつを返そうという気持ちになります。

「つ」は、「つづけよう」です。あいさつは、続けることが大切です。いつも交わしていたあいさつが急になくなると、相手は「何かあったのかな」「自分が何かしてしまったのかな」と不安に感じる場合があります。また、あいさつに一言添えて「おはよう、今日は暑いですね」「さようなら、また明日」と声をかけるだけで、心の距離はぐっと近づきます。

「明るく温かく、いつでも誰にでも、先に進んで、続けて」あいさつができる「あいさつの達人」が、桂台小の児童にはたくさんいます。私たち大人も意識して実践していきたいものです。

新年度が始まり、一か月が過ぎようとしています。新しい環境の中で頑張ってきた子どもたちにも、少しずつ疲れが表れやすい時期です。気温の変化も大きく、体調管理が難しくなります。間もなく迎える連休を、心と体を整える時間として活用し、規則正しい生活を心掛けながら、五月からの学校生活を元気にスタートできるよう、御家庭での御協力をお願いいたします。